

令和7年度 第2回 介護福祉学科 教育課程編成委員会 議事録（概要）

1. 開催概要

日時: 令和8年2月17日（火） 15:00～16:00

場所: 301 教室

出席者:

教育課程編成委員出席者

山口県介護福祉士会 会長

介護福祉学科卒業生

教職員出席者

校長

副校長

事務長

介護福祉学科長

書記

2. 議事と報告内容

令和7年度の取り組みと評価

国家試験対策の強化: 基礎力定着のための確認テスト実施や、外部会場を利用した模擬試験の増回（計10回）、グループ学習の導入などを行い、効果がみられた。学力に不安のある学生には重点的な個別支援を実施。

多職種連携と就職支援: 他分野の専門職と連携した講義を実施。就職内定率100%を目標に関係機関との連携を強化。

留学生支援と地域貢献: 日本語の個別指導などを徹底し、2年生の留学生4名が支援施設へ内定。また、学生は地域の福祉関連ボランティア等に積極的に参加。

令和8年度の教育計画

国家試験対策や留学生への学習支援体制のさらなる強化、および社会性を養うための地域貢献活動の継続を計画し、全会一致で承認された。

3. 主な意見交換の内容

ボランティア活動における学生の評価: 老人福祉施設大会での運営補助において、学生の正しい挨拶や元気な態度が学外から非常に高く評価された。

今後の国家試験・留学生対策: 自己採点結果を踏まえ、学生ごとの得意・不得意を見極めた戦略的な個別指導の必要性が確認。また、来年度は留学生が6割を占める見込みであり、入学前（春休み中）の日本語能力向上が大きな課題。

業界課題への対応（AI・ICT・人間性教育）:

介護現場の事務負担軽減や教職員の業務効率化に向けて、資料作成等における AI 活用の重要性が共有。

最新機器 (ICT など) を用いた教育については、設備を導入している近隣の介護施設と連携して進める方針。

介護現場での虐待増加等の課題に対し、学生との信頼関係を築きながら、中核を担う人間性豊かな人材を育成していくことが確認された。

4. 次回予定

令和 8 年 10 月頃を予定